

ダウノルビン・シタラビン

(商品名:ビキセオス配合静注用)

【起こる可能性のある副作用】

◎血管外漏出

- ・ 静脈に投与した薬が血管外に漏れ出てしまうことがあります。
- ・ 大きな傷となってしまう可能性がありますので、注射部位の周りを観察し、痛みや腫れ、赤みや熱感を感じた場合は速やかに職員に声をかけてください。

◎悪心・嘔吐

- ・ 治療前に吐き気を予防するお薬を使用します。
- ・ 予防薬の効果が十分得られない場合は、予防のお薬を追加する場合があります。

◎骨髄抑制

- ・ 白血球/好中球数減少(感染症にかかりやすい、発熱)、血小板減少(鼻血、あざができる、出血しやすい)、貧血(めまい、息切れ、疲れやすい)が起こることがあります。

◎心機能障害

- ・ 繰り返し投与することで、心臓の働きに影響を与えることがあります。
- ・ 心臓のポンプ機能が低下することにより息切れや動悸、体重増加やむくみなどの症状が現れることがあります。

◎呼吸障害

- ・ 急な息切れや息苦しさ、呼吸がはやくなる、脈がはやくなるなどの症状が現れることがあります。

◎シタラビン症候群

- ・ 点滴を行ってから数時間後に、発熱、筋肉痛、発心、骨や胸の痛み、結膜炎、倦怠感などの症状がみられることがあります。

◎中枢神経障害

- ・ 歩行時のふらつき、意識がもうろうとする、言葉が出にくいなどの症状が現れることがあります。

ここに挙げたものは主な副作用です。ここに挙げていないものも起こる可能性があります。ささいなことでも遠慮なく主治医・看護師・薬剤師に連絡をしてください。